

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 11月 22日

事業所名 放課後等デイサービス 獲のたまご

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	パーティション等の仕切りの活用。密になることを避けるよう配慮している。	小グループで活動できる支援内容の提案。
	②	職員の配置数は適切である	7	0	0	ボランティアや学生アルバイトを採用。	スタッフ育成の時間の確保。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	0	1階であるため、エントランスから段差が少ない。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	朝礼時にその日の目標を確認し、パートスタッフにも都度伝える。	業務連絡の徹底。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	開所初年度に当たり3月にアンケートを配布した。	集計後、スタッフ、利用者保護者に周知し、課題や改善目標を設定する予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4	0	HPがないため、WAMネットでの公表を予定している。	HPの立ち上げ
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	2	開所初年度のため、来年度あたりに予定。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	事業所内研修の開催及び研修ツールの活用やリモート研修への参加。	開所初年度のため、年間計画の作成が追い付いていないが、計画作成中。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	面談や家庭訪問を行い、足りない部分は電話やメールで行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0	学習ツールやおもちゃ、PCやタブレットを導入している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	定期的なミーティングを行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	月の行事に合わせた活動内容を検討し、利用者の要望を取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	活動によってルールの掲示やタイマーの活用、また達成シールや保護者への報告。	ルールを守れないときの対応と見直しについて。一日利用の際の活動内容を検討。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	個別サポートと小グループでの活動を中心に行っている。	スタッフ不足により、個別対応が困難な場合がある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	前日の就業終了時やサービス開始直前のミーティングで確認。前日の支援日誌の活用。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	連絡帳の保護者欄で気づいた点について話し合う。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	各スタッフが関わった利用者についての支援日誌を記録し、すべての利用者の日誌に目を通す。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	最低年二回のモニタリングと支援計画の見直しを行い、保護者からの要望や利用児童の状況によって3～4カ月ごとの見直しもある。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	0	0	月に一度、朝礼時にガイドラインを読み上げ、意見交換と検討を行う。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	基本的には管理者、児童発達支援管理責任者が担当している。	児童の状況を把握し、担当者会議にだれもが参画できることを目指している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0	学校の行事予定や下校時間表等を保護者や学校から毎月閲覧してもらったり、保護者より児童の通所利用の予定を知らせてもらっている。	下校時間の急な変更に対する対応。保護者または学校からの迅速な連絡をお願いしている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1		現在のところ、医療的ケアが必要な児童の受け入れはない。	医療的ケアが必要な児童を受け入れられる活動スペースが十分でない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	支援や対応に特別な技術を要する場合は、保護者の了承を得たうえで就学前の園を訪問することもある。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	1	児童が事業所移行する際に移行先より要望があれば、保護者の了承を得たうえで、情報の提供を行っている。	
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	0	時々召集される報告会には必ず出席し、情報交換をしたり研修を受けている。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	3	公園で自然に子供同士が打ち解け合い、交流することはあるが、クラブや児童館の受け入れは厳しい。	児童一人一人の保護者から了承をもらわなくてはいけない等、クラブや児童館側の受け入れ体制がない。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	開所したばかりで、案内等が来ていないが、召集等があれば必ず積極的に参加する体制である。	
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	連絡帳や電話、メール、LINE等で日常的に連絡を取り合うよう心掛けている。	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	0	常に誠実に児童の支援について保護者に報告し、信頼関係の構築を図り、協力体制があることを伝えている。	放課後デイの利用目的を明確にし、児童の支援を優先しつつ保護者への支援も惜しまないことの理解を深めたい。
保	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約時に説明を行い、事業所内に掲示している。	
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	電話や携帯、LINE等で、いつでも相談を受けられる体制を取っている。	
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	1	コロナ等の感染症蔓延により保護者会の開催が困難となっていたが、小グループに分けて開催することを検討中。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	これまでのところ苦情を受けたことはないが、苦情があった場合は内容について保護者や児童としっかり話し合い解決に繋げる体制である。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	毎月の利用要望書とともに活動や行事、また連絡事項を発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	7	0	0	スタッフは秘密情報保持に関する契約書を交わし、個別ファイルは鍵付きキャビネットに保管している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	定期的な家庭訪問を行い問題や困ったことがないか、聞き取りをしたり、また情報をわかりやすく書面にするなど工夫している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0	送迎や定員に問題ない限り、要望があれば受け入れる体制がある。	若干数ではあるが、他区からのご利用もある。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0	緊急カードの作成、感染症にかかった際の対応について、契約時等で説明を行い、関連ポスター等の掲示をしている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	小グループでの訓練や防災館を訪問し、体験学習を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	朝礼、支援後の申し送り等で定期的に行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	身体拘束が必要な可能性のある児童には、契約時に説明し「行動制限についての同意書」をいただいている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	0	医師の指示書はないが、保護者よりアレルギー反応を起こす可能性のあるものを聞き、その児童が利用される際はスタッフに毎回周知している。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	小さなことでも、危険性を感じたときは必ず報告書に記載しスタッフ間での周知を図っている。		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。